

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	超高精度光ナノグリッド基準と光絶対スケールコムの新規創出が拓く精密光計測フロンティア
研究代表者	高 偉（東北大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、グリッド基準面を用いた多軸計測の分野における応募者らのこれまでの世界的な研究成果に基づき、新たに高精度光ナノグリッド基準と光絶対スケールコムとの融合による多軸光絶対スケールコムを創出することで、10μm 級の多軸計測を実現しようとするもので、極めて独創的・意欲的な提案である。研究内容や研究計画も綿密に練られており、本研究を遂行し、十分な研究成果を上げることが期待される。</p> <p>超精密光計測学の更なる発展及び高精度生産加工技術への貢献が期待でき、国際的に更に高い評価を得る可能性が高いことから、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>